

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 看護学科         |                 | 科 目 区 分                                    | 基礎分野   | 授業の方法                     | 講義実習          |
|--|--------------|-----------------|--|--------|---------------------------|---------------|
| 科 目 名  | 異文化コミュニケーション |                 | 必修/選択の別                                    | 必修     | 授業時数(単位数)                 | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | 2年次          |                 | 学期及び曜時限                                    | 通年     | 教室名                       | 視聴覚室・講堂       |
| 担 当 教 員  | 飯塚 雄一        | 実務経験と<br>その関連資格 | 島根県立大学に勤務していた(島根県立大学名誉教授)                  |        |                           |               |
| 《授業科目における学習内容》   |              |                 |  |        |                           |               |
| 異文化コミュニケーションは、他の民族とどのような関係(コミュニケーション)をつくっていくのかがテーマである。異なった民族・文化の人を理解し、国際社会・国際看護・医療活動の一助となるように講義を構成する。実際に現地アメリカでの看護に触れる体験学習も含まれている。 |              |                 |  |        |                           |               |
| 《成績評価の方法と基準》   |              |                 |  |        |                           |               |
| 出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する  |              |                 |  |        |                           |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》  |              |                 |  |        |                           |               |
| マイルズ・L・パターン(著)大坊郁夫(監訳)<br>「ことばにできない想いを伝える-非言語コミュニケーションの心理学」 誠信書房   |              |                 |  |        |                           |               |
| 《授業外における学習方法》  |              |                 |  |        |                           |               |
| 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。グループワークによる調べ学習を行う。  |              |                 |  |        |                           |               |
| 《履修に当たっての留意点》  |              |                 |  |        |                           |               |
| 海外研修を含む。   |              |                 |  |        |                           |               |
| 授業の<br>方法  | 内 容          |                 |  | 使用教材   | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容     |               |
| 第1回  | 実習形式         | 授業を通じての到達目標     | 海外研修について目的・目標が確認できる。                       | 海外研修資料 | 海外研修に向けたグループワーク、各役割での準備   |               |
|  |              | 各コマにおける授業予定     | 1. 海外研修の意義・目的・目標・スケジュールについて                |        |                           |               |
| 第2回  | 実習形式         | 授業を通じての到達目標     | カレッジでの研修、講義、メディカル・シュミレーション実習に積極的に質疑応答ができる。 | 海外研修資料 | 質疑応答ができるよう事前準備をしておく。      |               |
|  |              | 各コマにおける授業予定     | カレッジでの研修、講義、メディカル・シュミレーション実習、              |        |                           |               |
| 第3回  | 実習形式         | 授業を通じての到達目標     | カレッジでの研修、講義、メディカル・シュミレーション実習に積極的に質疑応答ができる。 | 海外研修資料 | 質疑応答ができるよう事前準備をしておく。      |               |
|  |              | 各コマにおける授業予定     | カレッジでの研修、講義、メディカル・シュミレーション実習、              |        |                           |               |
| 第4回  | 実習形式         | 授業を通じての到達目標     | 施設見学、学生発表・文化交流で積極的に質疑応答・交流ができる。            | 海外研修資料 | 積極的に質疑応答・交流ができるように準備しておく。 |               |
|  |              | 各コマにおける授業予定     | 施設見学、学生発表・文化交流                             |        |                           |               |
| 第5回  | 実習形式         | 授業を通じての到達目標     | 海外研修を通しての学びを発表することができる。                    | 海外研修資料 | 海外研修後の振り返り発表に向けた準備        |               |
|  |              | 各コマにおける授業予定     | 海外研修の振り返り発表                                |        |                           |               |

| 授業の方法 |        | 内 容         |  | 使用教材         | 授業以外での準備学習の具体的な内容                   |
|-------|--------|-------------|--|--------------|-------------------------------------|
| 第6回   | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 文化とは何か、昨今の異文化の諸問題－移民など－、コミュニケーションとは。について説明できる。               | テキスト<br>AV機器 | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。               |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 文化とは何か、昨今の異文化の諸問題－移民など－、コミュニケーションとは。                         |              |                                     |
| 第7回   | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 非言語コミュニケーションの特徴、チャネル－顔のチャネル、表情分析について説明できる。                   | テキスト<br>AV機器 | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。               |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 非言語コミュニケーションの特徴、チャネル－顔のチャネル、表情分析                             |              |                                     |
| 第8回   | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 表情の機能－身分証明書、感情表出、表図表出など、微表情とは、感情労働について説明できる。                 | テキスト<br>AV機器 | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。               |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 表情の機能－身分証明書、感情表出、表図表出など、微表情とは、感情労働                           |              |                                     |
| 第9回   | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 看護場面における表情の重要性、表情フィードバック仮説、視線行動について説明できる。                    | テキスト<br>VHS  | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。               |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 看護場面における表情の重要性、表情フィードバック仮説、視線行動について                          |              |                                     |
| 第10回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 看護場面における視線の重要性、視線の機能－モニタリング、会話調節、感情表出、一視線の規範、視線の作法について説明できる。 | テキスト<br>AV機器 | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。               |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 看護場面における視線の重要性、視線の機能－モニタリング、会話調節、感情表出、一視線の規範、視線の作法           |              |                                     |
| 第11回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 視線行動の理論、瞳孔反応、まばたきの機能、身体の動き(身振り、手振り)の機能について説明できる。             | テキスト<br>AV機器 | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。               |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 視線行動の理論、瞳孔反応、まばたきの機能、身体の動き(身振り、手振り)の機能                       |              |                                     |
| 第12回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | しぐさの重要性、介護場面での身体の動き、異文化におけるジェスチャーの違いについて説明できる。               | テキスト<br>VTR  | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。               |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | しぐさの重要性、介護場面での身体の動き、異文化におけるジェスチャーの違い                         |              |                                     |
| 第13回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | ブラジル、フィンランドの国際交流員(市役所)の話聞き、自分の考えをまとめることができる。                 | テキスト<br>AV機器 | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。授業後自己の考えをまとめる。 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | ブラジル、フィンランドの国際交流員(市役所)を招いての異文化コミュニケーションの話                    |              |                                     |
| 第14回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 対人距離、空間行動、パラ言語について、看護場面での意味、文化の違いについて説明できる。                  | テキスト<br>AV機器 | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。               |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 対人距離、空間行動、パラ言語について、看護場面での意味、文化の違い                            |              |                                     |
| 第15回  | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 服装、化粧、臭いなどの影響について、異文化非言語コミュニケーションの解説(演習)について自己の考えを述べることができる。 | テキスト<br>AV機器 | 配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。授業後自己の考えをまとめる。 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 服装、化粧、臭いなどの影響について、異文化非言語コミュニケーションの解説(演習)                     |              |                                     |